

# 匠たちの

# 技と美

—日本伝統工芸近畿展より—

2015年

5月30日〔土〕—6月21日〔日〕

▼休館日 毎週月曜日

▼開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

▼入館料 一般300円／大学生以下無料

※20名以上の団体は2割引  
※身障者手帳等をお持ちの方、及びその介護者お一人まで半額

▼主 催 南丹市・南丹市教育委員会・南丹市立文化博物館

▼後 援 京都府教育委員会・京都新聞社・日本経済新聞社大阪本社

▼特別協力 公益社団法人 日本工芸会近畿支部・京都美術工芸大学

◎リレーギャラリートーク（出品作家による解説） 5月31日〔日〕

13時20分 石橋裕史〔陶芸〕 14時00分 坂井修〔漆藝〕 14時20分 人見祥永〔漆藝〕 14時40分 角谷征一〔金工〕 15時00分 宮本貞治〔天竺工〕 15時20分 岡弘美〔人形〕 15時40分 山本茜〔漆工芸〕  
※各開始予定時刻は多少前後することがあります ※聴講料は無料ですが入館料が必要です

南丹市立文化博物館（2階企画・特別展示室）

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町63番地 電話 0771(68)0081



# 匠たちの技と美

日本全国には先人達の知恵と技、そして風土が育んできた様々な伝統工芸があります。伝統工芸には、長年培われてきた匠の技や素材を活かし「カタチ」として完成させるといった魅力がありますが、一方で現在の生活スタイルとはかけ離れたイメージもあり、多くの人々が頻繁に目にするものとは言い難いのが現状です。しかし、伝統工芸の歴史を紐解くと、その原点は人々の生活に息づき、受け継がれてきたものであることがわかります。

こうしたことを踏まえ、本展では、伝統工芸をよりわかりやすく親しみやすいものとするため、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7つの分野に分類し、作家の言葉とともに紹介いたします。展示作品については、伝統工芸の技を受け継ぐ多くの優れた作家が在籍する日本工芸会近畿支部が主催し、その普及と発展に大きな役割を果たしてきた日本伝統工芸近畿展出品作の中から、重要無形文化財保持者、受賞者などの作品を展覧します。



乾漆螺鈿時絵箱「家路」/佐々木省庵



彩紋鍍花器/平井 明



青瓷白瑩し大鉢/山中辰次



乾漆珠食籠/高瀬敏郎



浮織着物「夕時雨」/宮入 映



神代櫛飾箱/櫻田武士



松葉地文広口釜/角谷圭二郎



截金八稜飾筒「綺羅花」/中楚朗子



袖織着物「古の丘II」/足立真実



桐型「灯」/井上楊彩



木彫「一向」/岡本祐治



緋彩長方皿「漣痕」/神崎秀策

## 出品作家一覧 (順不同)

[陶芸]	[染織]	高瀬敏郎	古谷禎朗
浅田浩道	足立真実	人見祥永	宮本貞治
猪飼祐一	北村武資	山本 哲	村山 明
石橋裕史	木原 明		
市岡和憲	坂井 修	[金工]	[人形]
伊藤五美	羽田 登	植田参稔	井上楊彩
内山政義	福田喜重	角谷圭二郎	岡 弘美
鎌田幸二	細見 巧	角谷征一	岡本祐治
神崎秀策	宮入 映	三好正豊	島田耕園
木村盛伸	村上良子		
國定克彦	森口邦彦	[木竹工]	[諸工芸]
清水保孝	湯本エリ子	櫻田武士	中楚朗子
神農 巖		住谷考蔵	中村佳陸
田中良昭	[漆芸]	田辺小竹	村上茂子
平井 明	江藤國雄	玉村嘉章	山本 茜
村田真人	遠藤公譽	中川清司	渡邊 明
山中辰次	北村昭斎	疋田達矢	
	佐々木省庵	藤寄一正	

※当チラシに掲載している氏名等については、すべて敬称を略させていただきます



【交通案内】  
 ▶車で…  
 京都縦貫自動車道「園部IC」もしくは「八木西IC」より約5分  
 ※駐車場は園部公園駐車場をご利用下さい。  
 ▶電車・バスで…  
 JR 園部駅下車、駅西口より、  
 ①京阪京都交通バス 40 系統 八田線、44 系統園籬線で「交流会館前」下車すぐ、もしくは  
 ②ぐるりんバス 20 系統・30 系統で「図書館前」下車すぐ  
 ※①②どちらのバスでもお越しいただけます。

## 南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町63番地 tel.0771(68)0081 fax.0771(63)2983  
<http://www.be.city.nantan.kyoto.jp/hakubutukan/>